

製品名: MC1-R ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87226**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC |
| 反応性 | 人間 |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000 |
| 分子量 | Calculated MW:35 kDa; Observed MW:35 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|--------------------|
| 遺伝子名 | MC1-R |
| 別名 | CMM5; MSH-R; SHEP2 |
| 遺伝子ID | 4157 |
| SwissProt ID | Q01726 |
| 免疫原 | ヒトMC1-Rの合成ペプチド |

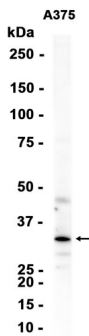
背景

このイントロンのない遺伝子は、メラノサイト刺激ホルモン（MSH）の受容体タンパク質をコードしています。コードされているタ

ンパク質は、7回膜貫通型のGタンパク質共役受容体であり、メラニン生成を制御します。メラニンには、赤色フェオメラニンと黒色ユーメラニンの2種類があります。機能喪失につながる遺伝子変異は、フェオメラニン産生の増加と関連しており、皮膚や髪の色が薄くなります。ユーメラニンは光防御作用がありますが、フェオメラニンは紫外線照射によってフリーラジカルを生成し、紫外線による皮膚損傷の一因となる可能性があります。MSHが受容体に結合すると、受容体が活性化され、ユーメラニンの合成が促進されます。この受容体は、日光感受性の主要な決定因子であり、黒色腫および非黒色腫性皮膚がんの遺伝的危険因子です。皮膚や髪の色と相関する30以上の変異アレルが同定されており、この遺伝子が正常なヒトの色素変異を決定する上で重要な要素であることが示唆されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

研究分野

画像データ



MC1-R ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した A375 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。